

競技は不問、参加率を競う

4回目の参加となるに、短距離走とテニス
 神奈川県逗子市。午前の講座を設けた。
 0時から午後8時まで 一連のプログラムは
 で、さまざまな催しを あらかじめ市の広報誌
 設ける。0時からは、などで公表した。これ
 防犯パトロールを兼ね らのプログラムに参加
 た「夜回りラン&ウォー してもいいし、別に自
 ーキング」。40分ほど 分で好きなスポーツを
 かけて3キロの道のりを してもいい。
 たしる予定だ。 だが、児童・生徒が
 夜が明けてからは、 学校の体育の授業に出
 ラジオ体操に始まり、 席しただけでは参加と
 フォークダンスやテニ は見なされない。児童
 ス、ゲートボールなど ・生徒がチャレンジデ
 時間を決めて、同じス ーの意義を理解し、校
 ポーツを楽しみたい人 内外でスポーツに打ち
 たちが集まれるように 込めば参加に数えるこ
 としてある。小学生向け とができる。
 には、放課後の時間帯

2015年5月25日 月曜日
 日本教育新聞

逗子

チャレンジデー

Challenge Day in ZUSHI 2015

今年度の逗子市は広島県三次市と対決！
 当日15分以上運動した方の参加率を競います（目標40%）

5月27日 水 午前0時～午後9時

通勤・通学・散歩・買物など 15分運動したらエントリー！

●主催：逗子市チャレンジデー実行委員会 笹川スポーツ財団 ●協力：公益財団法人 逗子市体育協会
 ●お問い合わせ TEL:046-870-1296 / FAX:046-872-0296 / メール: cha-zushi@city.zushi.kanagawa.jp

チャレンジデー PR 用チラシ

主 催

松田町チャレンジデー実行委員会 (委員長 本山博幸)
教育委員会生涯学習係

〒 258-8585 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2078
松田町民文化センター

TEL : 0465-83-7021 FAX : 0465-83-7025

結 果

人 口 : 11,502 人 神奈川県松田町 ●
参加者数 : 5,643 人 VS
参加率 : 49.1% 秋田県仙北市 ○
取得メダル : 銀

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①運動しよう！ in 松田小学校 (松田小学校 グラウンド) 537 人
 - ②運動しよう！ in 松田幼稚園 (松田幼稚園) 250 人
 - ③運動しよう！ in さくら保育園 (松田さくら保育園) 222 人
 - ④運動しよう！ in 寄小中学校 (寄小中学校 グラウンド) 107 人
- ・幼稚園、保育園、小中学校で開催されているプログラムは、地域住民も参加できるようにして、地域及び世代間交流ができるようにしています。(一つの学校のみ、学校だけのプログラムでした。)

- ⑤チャレンジ パークゴルフ (川音川パークゴルフ場) 100 人

【アスリート・著名人など】

湘南ベルマーレフットサルクラブ (日本フットサルリーグ)

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／社会福祉協議会／高齢者施設／障害者施設

メディア

湘南ケーブルテレビ

広報・周知

チャレンジデーの2週間前から前日まで朝または夕方に、小田急線新松田駅及び JR 松田駅でチラシをいれたポケットティッシュ配り、あいさつ運動を行いました。

実施効果

参加率を上げるという意識を持って、町が一丸となって運動やスポーツに取り組むことができました。また、運動やスポーツを通じて、地域住民同士の交流が図れました。

担当者から

様々な団体を調整し、実施まで動かしていくことに苦労しましたが、チャレンジデーという大きな事業を実施することができて、自信を持つことができました。



みんなでラジオ体操



社交ダンスにチャレンジ



転倒予防運動

【松田町（本山博幸町長）】

町立松田中学校では、268人の全校生徒が長縄跳びでチャレンジデーに参加。先週末の体育祭と同様、クラス対抗で連続で跳んだ回数を競った。

校庭に並んだ生徒らは大きな声を掛け、息を合わせて跳躍。教職員も声援を送るなど、クラス二体で勝利を目指した。競技の結果、37回を記録して優勝した3年C組からは笑顔があふれた。

松田山山頂付近の町西平畑公園では、初夏

の花のハーブを楽しみながら園内を歩く「万歩計リレー」。「目指せ！東海道53次」と題し、日本橋―京都間の495・5歩（約70万7857歩）を目標に掲げ、参加者が協力して歩数を積み重ねた。

町内ではこのほか、下半身が引き締まると話題の「キラキラ★ボスチュアウォーキング」や湘南ベルマーレフットサルクラブとのミニゲームなど、ユニークな企画がたくさ

ん。本山町長も積極的に各会場をめぐる、町民と交流した。

2015年5月28日 木曜日
神静民報

チャレンジデーの結果
参加率は
7・1ポイント
アップの49・1%

5月27日（水）に開催された松田町チャレンジデー12015は、昨年を上回る5643人（参加率49・1％）の方々にご参加いただき、ありがとうございました。

松田町チャレンジデー2015の結果

自治体名	松田町	秋田県仙北市
実施回数	2回目	5回目
人口	11,502人	28,570人
参加者	5,643人	14,607人
参加率	49.1%	51.1%

【問い合わせ】教育課生涯学習係 ☎(83)7021

毎月最終水曜日を
松田町
チャレンジデーに！

町では、日常的な運動やスポーツをさらに根付かせるため、毎月最終水曜日を松田町チャレンジデーとし、運動やスポーツを推奨していきます。町民の皆さんが、健康で元気に過ごし、活力ある町としましょう。

2015年7月号
広報まつだ

主 催

真鶴町チャレンジデー実行委員会 (委員長 宇賀一章)
真鶴町教育委員会教育課

〒 259-0202 神奈川県 足柄下郡 真鶴町 岩 172-8
真鶴町民センター

TEL : 0465-68-1131 FAX : 0465-68-1551

結 果

人 口 : 7,865 人	神奈川県真鶴町	○
参加者数 : 4,971 人	VS	
参加率 : 63.2%	青森県田子町	●
取得メダル : 金		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ウォーキング (真鶴町内) 2,481 人
 - ・ 真鶴町の、特に半島部の「御林」と親しまれている自然林地帯は、多くの緑にも恵まれ野鳥のさえずりを聞きながらのウォーキングには最適です。さらに海岸遊歩道も波の音、潮のにおいを身近に感じながらのウォーキングが手軽にできる環境にあります。自然の中でのウォーキングは心身の健康づくりに最適であり、チャレンジデーで重点的に取り組むことにより、ウォーキングを毎日の生活に運動として取り組んでいきたいと考えます。「日ごろからの健康づくり」はチャレンジデーの最終目的につながるものであり、本町は今後このことを大切にしてチャレンジデーに取り組んでいきたいと考えます。
- ②踊り、体操 (真鶴町立体育館ほか) 1,261 人
- ③球技 (卓球、バレーボール等) (まなづる小学校・真鶴中学校体育館、お林展望公園ほか) 739 人
- ④ニュースポーツ (カーレット、フライングディスク等) (真鶴町立体育館ほか) 78 人
- ⑤その他 (筋力トレーニング、陸上等) (自宅、真鶴中学校グラウンド) 412 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設

メディア

湯河原新聞／相豆新聞／神静民報

製作物

チラシ 15,000 枚／スタッフTシャツ 132 枚／ポケットティッシュ 2,000 個／のぼり 50 本／横断幕・懸垂幕 10 枚

実施効果

- ・ 小さな町でも、役場、議会、そして、町民が力を合わせて、一所懸命に取り組み、何かを成し遂げることができることをチャレンジデーというイベントを通して経験・実感できました。
- ・ スポーツや健康づくりの主人公は町民自身だということを改めて考えることができました。
- ・ 金メダルや新人賞を獲得することにより、具体的な成果を町民が共有することができました。

担当者から

初挑戦であり最初から戸惑うことばかりでした。既に実施している自治体の活動を参考にしながら、真鶴町にあった活動、真鶴町らしい取り組みをしようと考えました。まず、町独自の目標として「参加人数 4,000 人」を掲げました。第 1 回実行委員会では多くの実行委員は目標達成は難しいと思ったようですが、町長の「目標は高く」の一言で実行委員の気持ちはまとまりました。

事務局としては、実行委員からの意見・アイデアをすべて実現するという姿勢、「できることはすべてやる」という姿勢で取り組みました。最初に、町民にチャレンジデーそのものを理解してもらうという壁にぶつかりましたが、チラシやポスターの掲示を自治会や店舗などにも依頼する中で浸透していきました。最後の週に連続して行った、駅頭での早朝からのポケットティッシュ配り、スーパーや商店街でのポケットティッシュ配りを通してチャレンジデーに対する町民の気持ちは盛り上がったように思います。一つ一つの活動を組織化することに一番苦労しましたが、一緒に取り組む実行委員や町民の気持ちは感じながら支えられながら取り組むことができました。



真鶴町チャレンジデー実行委員会の Facebook



オープニングでの意気込み

「チャレンジデー」初参戦 「燃えた！」真鶴町

「チャレンジデー」初参戦の真鶴町。この日は初参戦の真鶴町が、大会の中心となる。真鶴町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

実行委員長のあいさつ

元気な町へ、各団体合同の選手宣誓

伝統の民舞で心地よい汗を流す婦人連

西栗のダンス大会の様子

フランダースの練習

自治会の踊りバト

真鶴町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

2015年5月28日 木曜日 湯河原新聞

湯河原町二回目で初勝利 真鶴町初参加で金メダル

湯河原町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

真鶴町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

2015年5月29日 金曜日 相豆新聞

真鶴、湯河原ともに勝利 足柄下のチャレンジデー

真鶴町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

湯河原町は、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。また、この大会を通じて、町民の健康増進と、地域活性化を図りたいと考えている。

町民ら運動に親しむ

2015年5月29日 金曜日 神静民報



中学生によるクロスバレーボール



消防団によるソフトバレーボール

主 催

山北町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 湯川裕司)
 保険健康課 健康づくり班
 〒 258-0113 神奈川県 足柄上郡 山北町 山北 1971-2
 山北町健康福祉センター
 TEL : 0465-75-0822 FAX : 0465-76-4592

結 果

人 口 : 11,370 人	神奈川県山北町 ●
参加者数 : 5,368 人	VS
参加率 : 47.2%	岩手県大槌町 ○
取得メダル : 銀	

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①大縄跳び (山北町立川村小学校) 433 人
- ②体操等 (神奈川県立山北高等学校) 424 人
- ③オープニングイベント (長生きサンバ、ラジオ体操) (山北町立生涯学習センター) 320 人
 - ・ 広く町民に呼びかけ、健康普及員、スポーツ推進委員の協力のもと、誰でも手軽に楽しめる長生きサンバやラジオ体操を行いました。
- ④大縄跳び (山北町立山北中学校) 259 人
- ⑤ファイナルイベント (ソーランやまきた) (山北町立生涯学習センター) 150 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／婦人会／社会福祉協議会／高齢者施設／観光協会／健康普及員協議会／文化団体連絡協議会

メディア

神奈川新聞

広報・周知

プログラム入りチラシに参加方法、報告の仕方等をわかりやすく掲載して、全戸配布しました。また、実行委員長を中心に町内における PR キャンペーンを 3 回実施するとともに、各種会議やイベント等において PR 活動を積極的に行いました。

製作物

チラシ 7,000 枚／スタッフ T シャツ 50 枚／ポケットティッシュ 2,000 個／のぼり 90 本／横断幕・懸垂幕 10 枚

実施効果

健康寿命を延ばすために、運動を習慣づけるきっかけづくりになったと考えています。また、様々な団体との交流や来町者との

コミュニケーションなど、ひとつの目標に向かい、団体間での連携や協力により連帯感が生まれました。

担当者から

初めての試みであり、「チャレンジデー」の主旨や内容の周知など実行委員や役員の努力により、当初の目標参加人数を上回ることができました。今後の課題としては、特に住民が自ら行う自主チャレンジの報告に関しては、参加者を増やすために、事前の PR 活動が大切であると思います。



チャレンジデー 2015 目標達成祈願風船飛ばし



長生きサンバ (勝どき)



ソーランやまきた

チャレンジデー初参戦の山北町 大槌町とエール交換

身近なスポーツを通して、健康づくりや地域活性化を目指す。対戦相手の自治体とスポーツの参加率を競う「チャレンジデー2015」(分日実施)に初参戦する山北町は18日、初対相手の岩手県大槌町とエール交換した。

東日本大地震の被害で甚大な被害を受けた大槌町は、井上ひさしさん原作の人情劇「ひよっこ」のようなふるさとを模した町がある。チャレンジデーには10回参加し、優勝中の大槌町は、

山北町役場の松本隆夫、大槌町のテレビ局長とスポーツの参加率を競う「チャレンジデー2015」(分日実施)に初参戦する山北町は18日、初対相手の岩手県大槌町とエール交換した。

東日本大地震の被害で甚大な被害を受けた大槌町は、井上ひさしさん原作の人情劇「ひよっこ」のようなふるさとを模した町がある。チャレンジデーには10回参加し、優勝中の大槌町は、

大槌町のテレビ局長(右)と山北町のテレビ局長(左)がエール交換する様子。



5月の最終水曜日(19日)に、大槌町と山北町がエール交換する。大槌町は、岩手県大槌町。山北町は、岩手県山北町。

大槌町のテレビ局長(右)と山北町のテレビ局長(左)がエール交換する様子。

大槌町のテレビ局長(右)と山北町のテレビ局長(左)がエール交換する様子。

初出場の山北町と 岩手県大槌町 チャレンジデー健闘誓う



初出場の山北町と岩手県大槌町。チャレンジデーに初めて参加する山北町のテレビ局長(左)と大槌町のテレビ局長(右)がエール交換する様子。

山北町は18日、初対相手の岩手県大槌町とエール交換した。東日本大地震の被害で甚大な被害を受けた大槌町は、井上ひさしさん原作の人情劇「ひよっこ」のようなふるさとを模した町がある。チャレンジデーには10回参加し、優勝中の大槌町は、

山北町は18日、初対相手の岩手県大槌町とエール交換した。東日本大地震の被害で甚大な被害を受けた大槌町は、井上ひさしさん原作の人情劇「ひよっこ」のようなふるさとを模した町がある。チャレンジデーには10回参加し、優勝中の大槌町は、

2015年5月19日 火曜日 神静民報

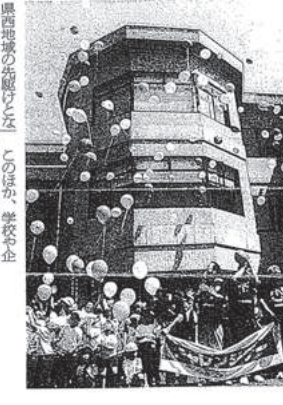
2015年5月19日 火曜日 神奈川新聞

真鶴と湯河原町も チャレンジデーを始める

山北町は初参戦。大槌町とエール交換する様子。

山北町は初参戦。大槌町とエール交換する様子。

山北町は初参戦。大槌町とエール交換する様子。



40%の参加率達成を願って、風船を飛ばした山北町。

2015年5月28日 木曜日 神奈川新聞

主催

湯河原町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 富田幸宏)

湯河原町役場 福祉部

〒259-0301 神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2-2-1
保健センター

TEL : 0465-63-2111 FAX : 0465-63-2940

結果

人口 : 26,387人
参加者数 : 9,022人
参加率 : 34.2%
取得メダル : 銀

神奈川県湯河原町 ○
VS
高知県宿毛市 ●

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ロープジャンプ (各小中学校) 1,571人
- ②朝のラジオ体操 (各区会近隣の公園) 619人
 - ・各区会 (自治会) に協力 (回覧板等の周知) を依頼し、参加者を増やすように努めました。
- ③ゆたぼん踊り (各保育園) 603人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 商工会 / 青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

メディア

湯河原新聞 / 相豆新聞 / 伊豆急ケーブルネットワーク「地域のニュース」

広報・周知

昨年よりも多くの事業所、企業に参加依頼をしたことと街頭にて事前周知を実施したことにより、ひとりチャレンジメニューの参加者が増えました。

製作物

チラシ / ポケットティッシュ (参加報告書入り)

実施効果

体を動かすことの爽快感、大事さを実感できたという声が多く聞かれました。きっかけづくりとなり、良かったと思います。

担当者から

昨年よりも多くの事業所・企業に参加依頼をしたことにより、ひとりチャレンジメニューの参加者が増えました。



朝のラジオ体操 (オープニング)



ロープジャンプ (中学校)



ゆたぼん踊り (保育園)

Yugawara 町役ニュース
目指せ！初勝利！！
5月27日(水)はチャレンジデー2015
 保健センター 内線367

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。この日は、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合います。

湯河原町は昨年初参加し、北海道の深川市と対戦しましたが、対戦結果は深川市57・0%、湯河原町22・7%で敗戦してしまいました。2回目の参加となる今年度は、高知県宿毛市との対戦です。町民一丸となって、初勝利を目指しましょう。

一部に限られた人たちがスポーツするのはなく、チャレンジデー当日に湯河原町にいれば、自宅・学校・職場など、どこでも、どんなスポーツをしてもよく、年齢・性別問わず誰でも気軽に参加できます。例えば、ラジオ体操やオーキングなどでもOKです。

※詳しくは、町ホームページ、広報ゆがわら5月号などでお知らせします。

2015年4月 広報ゆがわら 4月号

湯河原町で住民スポーツ「チャレンジデー」 高知県宿毛市と対戦
 2015年05月26日
 ツイート 12 共有する シェア 8+ 0

スポーツを通じた住民参加型イベント「チャレンジデー」が5月27日、開催される。湯河原町は高知県宿毛市と対戦する。

「ゆたぼんファイブ」の機木(ふうた)も応援に駆けつける

スポーツの習慣化と健康作りを目的に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が毎年5月の最終水曜日に開くイベント。0時から21時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合う。

対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚し相手の健勝を称えるというユニークなルールが特徴。

今年で2回目の参加となる湯河原町の人口は2万6387人。対する宿毛市は人口2万1868人で、5回目の出場。両市の市長は5月20日、お互いの健勝を祈りスカイプを使ったテレビ電話でエールを送り合った。

湯河原町広報室の鈴木友樹さんは「エールの交換には、湯河原町のマスコットキャラクター「ゆたぼんファイブ」の機木(ふうた)も応援に駆けつけ、両市の健勝と友好を願った。今回を機会にスポーツが盛んになればうれしい」と話す。

2015年5月26日 火曜日
 小田原箱根経済新聞

住民総参加型スポーツイベント チャレンジデー
Challenge day 湯河原町 5/27 Wed
 午前0時～午後9時
 みんなで15分の運動をしようよ!!
 町内であればいつでもどこでもOK

年齢は関係ないわ
 ウォーキングなどでもOKよ!
 詳しくは裏面を見てね

参加報告書は裏面だよ～

15分以上運動やスポーツをすればいいんだ～

対戦相手は高知県宿毛市みんなの力で勝ちに行け

参加報告書を忘れずに出してね

高知県宿毛市は湯河原町のように温帯で海・川に恵まれていて、漁業や農業が盛んな所なんだ。「たるま夕日」も見えるんだって。

高知県宿毛市:人口約21,868人
 5回目のチャレンジデー参加
 昨年の参加率は23.1%

チャレンジデーとは

- 毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。
- 午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合うものです。
- 5月27日(水)に湯河原町内にいる方、全てが参加できます。
- 湯河原町内であれば、自宅、職場、学校、公園、イベント会場などどこでも参加できます。
- 対戦する高知県宿毛市に敗れた場合は、宿毛市の旗を湯河原町庁舎のメインホールに1週間掲揚します。湯河原町が勝てば、宿毛市の庁舎のメインホールに湯河原町の旗が掲揚されます。

お問い合わせ先
 湯河原町チャレンジデー実行委員会 事務局:福祉部保健センター保健予防係 内線367
 湯河原町チャレンジデー実行委員会事務局ホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/challenge-day/>

チャレンジデー PR用チラシ

主催

魚津市チャレンジデー実行委員会 (会長 澤崎義敬)
魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課
〒937-0066 富山県魚津市北鬼江 313-2
魚津市役所第一分庁舎
TEL : 0765-23-1046 FAX : 0765-23-1052

結果

人口：43,519人	富山県魚津市 ●
参加者数：20,575人	VS
参加率：47.3%	茨城県行方市 ○
取得メダル：銀	

プログラム (太字：特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チーム対抗長縄跳び大会 (小学生の部) (市内小学校) 1,878人
- ②地区対抗ラジオ体操 (市内小学校体育館等) 1,754人
 - ・ 当日 19時30分に各地区で決定した会場に集まってラジオ体操を行い、その参加人数を同規模の地区間で競うイベントです。
- ③チーム対抗長縄跳び大会 (中学生の部) (市内中学校) 702人
- ④市役所早朝ラジオ体操 (市役所前公園) 204人
- ⑤体育協会主催「健康運動イベント」(ありそドーム等) 172人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／自治会・町内会／市内ショッピングセンター

メディア

北日本新聞／富山新聞／朝日新聞／北陸中日新聞／NICE-TV「ナイスキャッチ魚津」／ラジオ・ミュウ

広報・周知

- ・ ケーブルテレビを積極的に活用し周知を図りました。
- ・ 各種団体の総会等大勢集まる場に積極的に参加し、呼びかけとチラシの配布等を行いました。

製作物

チラシ 6,000枚

実施効果

- ・ 魚津市のメインイベントの1つである地区対抗ラジオ体操では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層で多くの参加があり、大いに盛り上がり、運動する良いきっかけになりました。
- ・ その他チャレンジデーでの各種イベントをきっかけに運動をする人やサークルが増えました。

担当者から

今年度は、過去3回の手応えや反省を生かしながらPR活動等を行い、結果、前回よりも参加人数、参加率共に上回ることがで

きました。当日は、どのプログラムも盛り上がりを見せ、4回目の実施ということもあり、チャレンジデーというイベント自体が確実に認識されてきたと実感できました。



小学生長縄跳び (プログラム①)



市役所早朝ラジオ体操 (プログラム④)



健康運動イベント (プログラム⑤)

チャレンジデーへ 市長がエール交換

茨城行方市と

魚津 27日に全国で行われる、運動をした人の割合を自治体同士で競う「チャレンジデー2015」を前に、津崎魚津市長が22日、対戦相手となる茨城県行方市の鈴木周也市長と電話でエール交換した。



電話でエール交換する津崎市長（中央）

津崎の近い自治体同士で、当日は15分以上運動した人の割合を比べる。4回目の参加となる魚津市の人口は4万3519人（2月現在）。行方市は6

回目の参加で、人口は3万7236人（同）。鈴木市長から電話を受けた津崎市長は、名物を紹介し「これを機に魚津に足を運んでもらいたい。お互い健康しましょう」と呼び掛けた。

2015年5月23日 土曜日 北日本新聞

チャレンジデー 組み合わせ決定

魚津、南砺、舟橋が参加

笹川スポーツ財団（東京）は6日、5月27日に行う住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」で参加する自治体の対戦相手を発表した。県内からは2市1村が参加し、魚津市は茨城県行方市、南砺市

は神奈川県寒川町、舟橋村は北海道愛別町と対戦する。

チャレンジデーは、人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続してスポーツや運動に参加した住民の参加率を競う。全国から130の自治体が参加する。

2015年3月7日 土曜日 富山新聞

住民の運動参加率競う

魚津市VS茨城県行方市

チャレンジデー2015

人口がほぼ同じ自治体同士が、15分以上続けて運動した住民らの参加率を競う「チャレンジデー2015」が27日、全国130の自治体で行われ、県内では魚津市、南砺市、舟橋村が参加した。人口約4万4千人で参加4回目の魚津市は今年、約3万7千人の茨城県行方市と対戦。参加率を上げるために市職員200人余りがいつもより30分早く出勤し、市役所前公園のラジオ体操に参加した。

午後9時までの参加率で競い、敗れた側は市庁舎に



首のタオルで額の汗をぬぐいつつ、ラジオ体操に参加する魚津市職員ら＝魚津市釈迦堂1丁目

勝者の市旗を1週間掲げるルールがある。昨年の参加率は、行方の46・1%に対して魚津は45・6%でわずかに分が悪い。魚津市生涯学習・スポーツ課の小林弘幸係長は「市体協主催の教室を無料で開いてもらうな

2015年5月28日 木曜日 朝日新聞

主催

南砺市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 田中幹夫)
南砺市教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課
〒932-0292 富山県南砺市井波 520
TEL : 0763-23-2013 FAX : 0763-82-5101

結果

人口 : 53,722 人	富山県南砺市	○
参加者数 : 26,635 人	VS	
参加率 : 49.6%	神奈川県寒川町	●
取得メダル : 銀		

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①一斉ラジオ体操 (市内各地域) 4,000 人
- ②市内各企業での運動イベント (市内各企業) 4,000 人
- ③市内各学校での運動イベント (市内各学校) 4,000 人
- ④市内各地域によるファイナルイベント (各地域 拠点体育館) 1,500 人
 - ・市内 8 つの地域で行うファイナルイベントは、地域スポーツクラブと実行委員が中心となりイベントを企画・運営し当日 18 時頃から 21 時の終了時間まで盛り上がりました。メイン会場となる城端地域には、実行委員長である南砺市長、富山県 PR キャラクター「きときと君」、南砺市のスポーツ推進キャラクターである「ナントマン」が参加し、市民と一緒に「ほっとあつとなんと体操」を行いました。その他、ピラティス、爽快エアロ、なんとチャレンジタワー、お楽しみ大抽選会、ファイナルカウントダウンを行い、多くの市民が参加し、汗を流しました。またユーチューブで映像を配信し、元気な南砺市とチャレンジデー事業を世界にアピールしました。
- ⑤ファイナルイベント内での「ほっとあつとなんと体操」一斉実施 (各地域 拠点体育館) 1,500 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

富山新聞/北日本新聞/TST となみ衛星通信テレビ「行政便り」

広報・周知

- ・インターネット動画サービスのユーチューブを使って、「新なんとチャレンジウォーク」や「ファイナルイベント」の様態を生中継しました。下記リンク先より (一部の様態は今も見られます。)
<http://www.ustream.tv/channel/%E5%8D%97%E7%A0%BA%E5%B8%82live>
- ・「新なんとチャレンジウォーク」では、参加者約 120 人の中から希望者にのぼりや手作りの小旗を持ってもらいチャレンジデーを PR しながら歩きました。

- ・各行政センターに懸垂幕、横断幕を設置して PR に努めました。
- ・市内全ての自治会にチャレンジデーのポスター、のぼりを配布して PR に努めました。
- ・市スポーツ推進キャラクターである「ナントマン」が広報番組に出演し、チャレンジデーを PR しました。
- ・希望する市内の保育園には「ナントマン」「きときと君」を派遣しチャレンジデーを盛り上げました。

製作物

チラシ 19,400 枚/スタッフ T シャツ 34 枚/ポケットティッシュ 1,000 個/タオル 300 枚/ポスター 300 枚

実施効果

- ・早朝ラジオ体操は各地域の恒例行事となっており、市内一円でも多くの市民が参加し、地域の一体感につながりました。
- ・新チャレンジウォークでは桜ヶ池で地元ナチュラリストによる解説を交えて行いました。地域の魅力を再発見できたと共に、参加者の健康増進につながりました。
- ・地域スポーツクラブと実行委員が中心となってイベントを企画・運営し、チャレンジデーを盛り上げました。スポーツクラブと実行委員が担う地域の役割を再確認しました。
- ・多くの企業にも参加協力を呼びかけることにより、従業員の健康増進に対する企業の社会的責任、地域との連携について理解を得られました。

担当者から

今回のチャレンジデーは「今日からチャレンジ!! 心とカラダの健康づくり」をスローガンに、南砺市として 11 回目の実施となりました。2 年連続金メダルを目指して準備を進めてきました。結果は 49.6% (26,635 人) の参加率で目標には届きませんでしたが、地域の盛り上がりを考慮すると、価値ある銀メダルだと感じています。

準備段階から、各地域実行委員と協議し、運営を進めてきました。イベントの企画・運営の他に、各地域でチラシの作成や、ダイレクトメール発送等の広報活動を行いました。地域の実情に合わせた広報活動が功を奏し、参加率の増加につながりました。

またウォークイベントでは従来の方法やコースを見直して、市の豊かな自然や歴史に触れながら歩くという付加価値をつけた「新なんとチャレンジウォーク」を開催しました。地域の歴史や偉人、初夏の自然に触れた参加者の様子から、改めて市の魅力を再発見することができたと感じました。

チャレンジデーは、市民の半数が参加するイベントであり、市民の健康づくりの機会と位置づけています。この機会が市民にとって南砺市

にとってより良いものになるように改善に取り組んでいきたいと思ひます。



ナントマンを招いての市内保育園のイベント



神奈川・寒川町と
テレビ電話で激励
チャレンジデーで南砺市

戦相手である神奈川寒川町の木村俊雄町長とエールを交換した。
チャレンジデーは、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上の運動やスポーツをした住民の参加率を競う。南砺市は過去10回で6勝4敗、寒川町は初参加となる。
お互いの市町を紹介した後、木村町長は「事業所が多くあり、PRに努めている」と話した。田中市長は「初参加の自治体は強い」と警戒し、健康寿命の延伸に向けたイベントの意義で同意した。

木村町長と健闘を誓い合う
田中市長
南砺市役所福野庁舎

2015年5月14日 木曜日
富山新聞



早朝体操に取り組み職員
魚津市役所前公園



エアロビクスで体を動かす参加者
南砺市城端体育館



ヨガを楽しむ参加者
舟橋村図書館

人口が同規模の自治体同士でスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」は27日、テニスを繰り広げ、小中学校14校では長縄飛び市48町13村で行われた。県内から南砺、魚津、舟橋の3市村が参加し、住民が楽しみながら健康づくりに汗を流した。
チャレンジデーは午前0時から午後9時までに15分以上、運動やスポーツに参加した住民の割合を競う。南砺市は過去10回で6勝4敗、寒川町は初参加となる。
お互いの市町を紹介した後、木村町長は「事業所が多くあり、PRに努めている」と話した。田中市長は「初参加の自治体は強い」と警戒し、健康寿命の延伸に向けたイベントの意義で同意した。

魚津市47・3%
茨城県行方市に敗れる
参加4年目の魚津市（人口4万3511人）は、6回目の茨城県行方市（同3万7236人）と対戦。参加率は47・3%で、50・3%の行方市に敗れた。
魚津市では各企業で社員

南砺市49・6%
神奈川寒川町に勝利
11回目の参加となる南砺市（人口5万3722人）は神奈川寒川町（同4万8139人）と対戦。南砺市7年ぶり、4回目の参加

舟橋村46・3%
北海道愛別町に敗れる
北海道愛別町に敗れる。7年ぶり、4回目の参加

チャレンジデー 県内3市村が参加

が体換をしたほか、市体育協会はウォークやエアロビクス、テニスを繰り広げ、小中学校14校では長縄飛び市48町13村で行われた。県内から南砺、魚津、舟橋の3市村が参加し、住民が楽しみながら健康づくりに汗を流した。
チャレンジデーは午前0時から午後9時までに15分以上、運動やスポーツに参加した住民の割合を競う。南砺市は過去10回で6勝4敗、寒川町は初参加となる。
お互いの市町を紹介した後、木村町長は「事業所が多くあり、PRに努めている」と話した。田中市長は「初参加の自治体は強い」と警戒し、健康寿命の延伸に向けたイベントの意義で同意した。

は参加率49・6%で、31・0%の寒川町に勝利した。南砺市では、桜ヶ池クラ イミングセンターで「新なんちゃレシウォーク」と題し、市民らが池の周囲に咲き誇るマサショウを 楽しみながら歩いた。福光 体育館ではカローリングや ビーチボールなどを楽し み、高齢者も「時勢運動教室」に参加した。
ファイナルイベントのメー イン会場となる城端中体育 館では午後8時、約130 人の市民が集合。既に2会 場も運動をなしてきた田 中幹夫市長とともに、エア ロビクスや「ほっとあっと」 などと体換で心地よい汗 を流した。

となる舟橋村（人口3066人）は5回目の北海道愛別町（同3098人）と対戦。参加率は46・3%で、62・1%の愛別町に敗れた。舟橋村は面積が日本一小さな村として、2013年度に日本一健康な村を目指す健康構想を策定しており、健康づくりのきっかけにするために参加した。村民をはじめ、村で働く通勤者らが舟橋会館や小学校などでヨガ体換、ウォーキング、フラダンスのほか、村歌「ちやんな舟橋村」の体換など汗を流した。金後勝雄村長もラジオが行われ、仕事持りの女性ら12人がリラックスしながら、体を動かした。

2015年5月28日 木曜日 富山新聞



早朝ラジオ体操



ファイナルイベントのようす

主催

舟橋村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 金森勝雄)
教育委員会

〒930-0283 富山県中新川郡舟橋村海老江147
舟橋会館

TEL: 076-464-1126 FAX: 076-462-2061

結果

人口: 3,066人	富山県舟橋村	●
参加者数: 1,421人	VS	
参加率: 46.3%	北海道愛別町	○
取得メダル: 銀		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① **ファイネクス (企業) 「ちっちゃな舟橋村 (村歌) を踊ろう」**
(ファイネクスピロティール) 140人
 - ・企業の貴重な昼休みということで、事前交渉では、一旦断られた経緯がありました。しかし村内唯一の大きな企業ということで、事務局が何度も依頼し実現しました。どれくらいの人数で、どの程度活動してもらえるか不安でしたが、村の特色と、無理なくやっていただける時間とを考えて、村歌に合わせたダンスを社員皆さんで踊ることを依頼しました。12:00~12:15という短い時間でしたが、村歌策定委員会の指導者に合わせて、140人全員が一生懸命に踊った姿は、大変感動しました。
- ② 朝のラジオ体操 (国重地区) (国重公民館) 50人
- ③ 親子サッカー体験 (舟橋小学校グラウンド) 50人
- ④ 村内ウォーキング (村内) 30人
- ⑤ ラディカルエクササイズ・ファイドウ (舟橋小学校体育館) 30人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/高齢者施設

メディア

北日本新聞/KNB北日本放送「KNB news every」/チューリップテレビ「ひるおび JNN ニュース ローカル」

広報・周知

本格的な広報活動は、短期集中として、5月25日(月)から当日まで行いました。早朝に越中舟橋駅でチラシ配布をしたり、朝、昼、夕と広報車を出しPRを小学生の声で行ったり、3日前に3回目のチラシ全戸配布をしました。

中期的な広報活動としては、2週間前に地区の体育協会委員に広報を依頼しました。今回は、7年ぶりに開催したことで、無理な広報や動員をやめ、既存のスポーツ団体の協力を得ながら行いました。当日が近づくにつれ、事務局より動員協力をしなかった

自治会から、協力の声が上がってきて、今後につながる動きが出てきました。

製作物

チラシ3,000枚/スタッフTシャツ60枚/のぼり40本/横断幕・懸垂幕10枚/参加賞クリアファイル2,500枚

実施効果

既存のスポーツ団体や、スポーツ推進委員、体育協会員の連帯感がありました。7年前に比べると、参加率がやや低調でしたが、自治会への動員をあまりせずに、村民の50%近くの方々が興味・関心を持ってもらえたことは、前向きにとらえてよいと思いました。また、平日でしたが、「ふなはしスポーツの日」としてスポーツイベントを実現できたことは、大変良かったと思っています。

担当者から

小さな自治体のため、当日までの準備は、ほぼ事務局1人でいました。また、その1人が県からの派遣者のため、歴史も分からず、団体間の調整など困難な面がありました。また、7年ぶりに実施の事業のため今回取り組むにあたり、無理をせず、やれる範囲での実施を心がけました。やはり自治会への動員不足からか、7年前に比べると参加率は低調であり、参加率の数字を期待していた方は、がっかりされたそうです。ただ、主旨的には、スポーツ参加できるプログラムを1日中そろえて「ふなはしスポーツの日」とし、50%近くの方に参加してもらえ、事業をやってよかったと思っています。

しかし、来年度続けるのであれば、参加率という数字を追わなければいけない側面もあるため、方法を少し考えて、自治会への動員、働いている現役世代の動員をどうするかを考えながら進めていかなければならないと思っています。チャレンジデーは、自治体としては、スポーツ振興のきっかけになる事業だと思っています。



村歌を踊ろう (ファイネクス)



参加率70%超え目標

舟橋村 27日チャレンジデー
 スポーツをした住民の比率を自治体同士で競う「チャレンジデー2015」が27日、全国で行われた。県内では南砺市が神奈川県寒川町、魚津市が茨城県行方市、舟橋村が北海道愛別町と対戦。南砺市は49.6%で、31.0%の寒川町に勝利した。魚津市は47.3%で50.3%の行方市に、舟橋村は46.3%で62.1%の愛別町にそれぞれ敗れた。今回は全国130市町村が参加した。

スポーツをした住民の比率を競う4月の「チャレンジデー」は、15時から17時までの実施期間。舟橋村では、村内の企業や小中学校、参加率70%超えを目指す。チャレンジデーは、人口が同規模の自治体同士で、15分以上スポーツをした参加者1人に対する比率を競う。自治体間の対戦相手は、舟橋市が4回目の参加で、北海道愛別町と対戦する。同町の人口は、村の3000人（4月1日現在）に比

2015年5月10日 日曜日
 北日本新聞

1日の間にスポーツをした住民の比率を自治体同士で競う「チャレンジデー2015」が27日、全国で行われた。県内では南砺市が神奈川県寒川町、魚津市が茨城県行方市、舟橋村が北海道愛別町と対戦。南砺市は49.6%で、31.0%の寒川町に勝利した。魚津市は47.3%で50.3%の行方市に、舟橋村は46.3%で62.1%の愛別町にそれぞれ敗れた。今回は全国130市町村が参加した。

県内3市村でチャレンジデー



多彩な種目実施
 南砺は神奈川寒川勝負、進行の掛け前に「オー」と南砺市では、市民が合併前の旧町村ごとにスタンプやカラーリングを染み込んだ、ローリングを染み込んだ、金地区の住民を対象にした統一イベントとしてラジオ体操、大縄跳びなどが繰り広げられた。

スポーツで心地よい汗
 エアロビクスを楽しむ。魚津市では、市体育協会が無料のスポーツイベントを空の下で身をおこなった。

女子児童がPK戦
 舟橋は北海道愛別町と対戦した。

この他、各地でダンスや10人制サッカー大会など多彩な催しがあつた。夜は住民が地元公民館などに集まり、ラジオ体操をした。舟橋は北海道愛別町と対戦した。

2015年5月28日 木曜日
 北日本新聞



親子運動教室



ユニカル交流会

主催

甲斐市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 保坂 武)
甲斐市教育委員会 スポーツ振興課
〒400-0192 山梨県甲斐市篠原 2610
TEL: 055-278-1698 FAX: 055-278-2047

結果

人口: 74,713人	山梨県甲斐市 ●
参加者数: 55,381人	VS
参加率: 74.1%	愛知県碧南市 ○
取得メダル: 金	

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ショッピングウォーク (ラザウォーク双葉甲斐、おかじま食品館、いちやまマート、アマノ PAX2 店舗 他) 16,184人
- ②ステーションウォーク (竜王駅、塩崎駅) 3,792人
- ③ラジオ体操定期開催 (赤坂台総合公園) 692人
- ④庁舎前 RD チャレンジ (甲斐市役所) 268人
- ⑤赤ちゃんハイハイ競争&ママさんゆがみ直し整体体操 (敷島体育館) 118人
 - ・今年初めての取り組みで、乳幼児から大人までを対象とした事業です。かわいらしい「赤ちゃんハイハイ競争」の後、児童館やファミリーサポートセンターのスタッフが託児を行い、ママさんには「ゆがみ直し整体体操」で日頃の疲れをリフレッシュしてもらいました。当日の写真からも、母子が楽しんでいる様子がうかがえます。

【アスリート・著名人など】

山梨クィーンビーズ (バスケットボール関東実業団リーグ)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

山梨日日新聞/朝日新聞/毎日新聞/YBS 山梨放送「ワイドニュース、地域情報コーナー」/UTY テレビ山梨「地域情報コーナー」/NHK 甲府放送局/CBC「イッポウ」/NNS 甲府

広報・周知

市の広報担当を通じプレスリリースしたほか、市ホームページ・市 SNS (LINE・twitter) による情報発信を行いました。

製作物

チラシ 30,000 枚/ポケットティッシュ 1,000 個/のぼり 150 本/タオル 300 枚/横断幕・懸垂幕 5 枚

実施効果

「ラジオ体操のまち甲斐市」ということで、日頃からラジオ体操の普及に取り組んでいます。

チャレンジデー当日には、自治会をはじめ、小中学校・幼稚園・企業において、ラジオ体操を中心とした運動に取り組み、それらの報告や実際に運動を目にすることで、ラジオ体操の普及活動の効果を確認することができました。

また、チャレンジデーを多くの自治会において事業として取り組んでいただいたことにより、自治組織の発展や地域内交流などの機会になりました。

担当者から

甲斐市は今年で6回目の実施となりました。

これまでの活動に引き続き、ラジオ体操を中心とした取り組みを行い、甲斐市におけるラジオ体操の普及を実感することができました。昨年作成した「甲州弁ラジオ体操」はとても好評で、チャレンジデー当日には多くの場所で甲州弁ラジオ体操を楽しむことができたと思います。

昨年の参加率を目標に、赤ちゃんハイハイ競争など、新たな取り組みを加え、市民をはじめ、近隣市町からたくさんの方の参加がありました。



ロープ・ジャンプ・EX (アスとれ総合型クラブ)



ラジオ体操定期開催 (赤坂台総合公園)



**チャレンジデー
赤ちゃんも競争**
甲斐市、南部町が参加
15分以上継続して運動した
住民の参加率を全国の自治体
で競う「チャレンジデー」(笹
川スポーツ財団主催)が27日
全国各地で開かれ、県内から
は甲斐市と南部町が参加し
た。

同規模の自治体で競い、6
年連続の参加となる甲斐市
は、愛知県碧南市と対戦。甲斐
市島上条の敷島体育館では、
まだ歩くことのできない赤ち
ゃんを対象にした「ハイハイ
競争」を行い、写真、親子約40
組が参加した。親はおもちゃ
で音を出したり、「こつこつだ
よ」と呼び掛けたりして誘導。
赤ちゃんは親が待つゴールに
向かって元気よくハイ
ハイしていた。

一方、3年連続の参
加となる南部町は、岩
手・軽米町と対戦した。
アルカディア南部総合
公園運動場では、グラ
ウンドゴルフ大会が開
かれ、町内の高齢者ら
約430人が参加。こ
のほか、音楽に合わせて
体を動かすリズム体操
なども行われた。

2015年5月28日 木曜日 山梨日日新聞

27日に住民運動チャレンジデー

3連覇、めざし新競技

甲斐市 赤ちゃん参加促す

全国の自治体と運動した住
民の参加率を競う「チャレンジ
デー」(27日、笹川スポー
ツ財団主催)で、甲斐市は、
当日開催するイベントを拡充
する。赤ちゃんが参加するハ
イハイ競争「公園を歩く、歩
数アップ大作戦」を追加し、
さらなる参加率のアップを図
る。

チャレンジデーは、継続し

て15分以上運動した住民の参
加率を全国の自治体と競うイ
ベント。甲斐市は2010年
から毎年参加し、13、14年と
人口7万25万人未満の自治
体枠でトップを記録。「今年
もトップを目指したい」とイ
ベントを増やした。

ハイハイ競争は同市島上条
の敷島体育館で、直線コース
をハイハイでゴールに着く時
間を競う。対象は一人歩きで
きない子ども。親は音が出る
おもちゃやメガホンを使って
子どもに声を掛け、誘導する。
上位入賞の親子にはアプレセ
ントがある。

歩数アップのイベントは、
健康運動指導士が脂肪燃焼を
促す歩き方などを教え、島上
条公園内を15分ほど歩く。

今回の参加率を競う相手
は、愛知県碧南市となる。問
い合わせは同市チャレンジデー
実行委員会事務局、電話0
55(278)1698。

2015年5月22日 金曜日 山梨日日新聞



赤ちゃんハイハイ競争



グラウンド・ゴルフ大会 (シルバー人材センター)

主催

南部町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 佐野和広)
 南部町教育委員会 生涯学習課 生涯スポーツ係
 〒 409-2398 山梨県南巨摩郡南部町内船 4473 - 1
 南部町役場分庁舎
 TEL : 0556-64-4841 FAX : 0556-64-3199

結果

人口: 8,544人	山梨県南部町	○
参加者数: 4,586人	VS	
参加率: 53.7%	岩手県軽米町	●
取得メダル: 銀		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① **ファイナルイベント** (簡単ヒップホップダンス、寸劇) (活性化センター) 200人
 - ・ファイナルイベントで実施した、甲州戦記サクライザーとの寸劇。昨年に引き続きの第二弾。今年も役場若手職員 15名ほどが自作寸劇を披露しました。「ヒーローキー」という悪の親分が子ども達の人気キャラクターとなっています。寸劇後はサクライザー体操を参加者全員で行いました。
- ② **リズム体操** (アルカディア体育館) 120人
- ③ **オープニングイベント** (ラジオ体操) (本庁舎前庭) 100人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

山梨日日新聞

広報・周知

町内各戸に設置してあるFM告知端末での放送による周知をしました。定期的に内容を変更して朝・昼・夜の3回放送しています。

製作物

チラシ 3,300枚／スタッフポロシャツ 45枚／コットンバック 100個／スタッフキャップ 20個／ボールペン 200本

実施効果

参加率は昨年よりも減少しました。これは町外からの参加者が減ったことが理由と思われる。しかし、町内の競技団体やグループでの自主的な活動も目立つようになっており、町民のチャレンジデーとスポーツに関する意識は高まっていると感じています。

担当者から

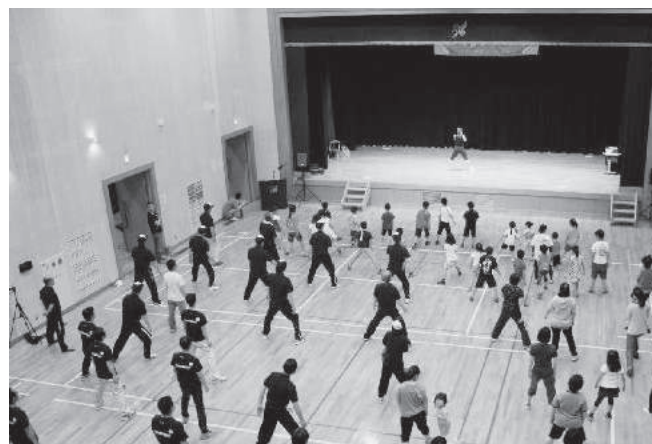
参加率の地域格差が目立ち始めてきています。バックデータをもとに参加率の低い地区へのアプローチをしていきたいと思いません。



ファイナルイベント



リズム体操



ヒップホップダンス

スマイルなんぶ 「健康・長寿 日本一を目指して！」

南部町チャレンジデー2015

5月27日(水)午前0時～午後9時の間に15分以上体を動かして報告してください。
ラジオ体操・ウォーキングなど、日常的な運動を実施！チャレンジデーを機に継続して健康維持！！
下表を参考にして、運動の実施・報告をお願いします。

● 個人・区・組での実施内容の例

内容	場所	時間	対象	報告方法
普段実施している運動、これから継続していきたい運動の実施	自宅、庭など	5月27日 午前0時から 午後9時まで	個人、 家族、 ご近所	電話、FAX、 公民館に設置の ボックスへ 報告用紙を投函。
ラジオ体操の実施				
ウォーキングの実施	家の周り、 公民館まで	ウォーキングタイム 【注1】		

- ・区、組、支部体協、ご近所で声を掛け合って実施してください。
- ・お年寄りなどの報告については、手を貸してあげてください。

● チャレンジデー実行委員会が実施する内容

内容	場所	予定時間	対象	報告方法
オープニングイベントラジオ体操	役場 本庁舎前庭	午前8:30～午前9:15	一般	それぞれの 会場にて、 報告用紙を 回収。
キャラバン隊	町内	午前8:30～午後4:00	一般	
「道の駅」チャレンジデー特設コーナー	道の駅駐車場	午後0:00～午後6:00	町外一般	
ファイナル簡単ヒップホップダンス	活性化センター	午後7:00～午後7:45	親子・一般	
ファイナルサクライザー寸劇・体操	活性化センター	午後7:45～午後8:30	親子・一般	
ファイナル記念品抽選会	活性化センター	午後8:30～午後8:45	親子・一般	

参加率目標は68%以上です。

対戦相手は、軽米町(岩手県)。当日の勝敗よりも、継続的な運動の実施が重要。
町民の皆さんの健康寿命で勝負しましょう！！

当日(27日のみ)報告専用ダイヤル

電話：0556-66-1160 午前7時00分～午後9時30分
FAX：0556-66-1161 午前0時00分～午後9時30分

【注1】南部町「あいさつ」ウォーキングタイムの設定

「おはよう」タイム 午前9時00分～午前10時00分
「こんにちは」タイム 午後3時00分～午後4時00分
「こんばんは」タイム 午後7時00分～午後8時00分

南部町チャレンジデー実行委員会事務局、南部町教育委員会生涯学習課0556-64-4841

2015年5月号 広報なんぶ



オープニング



2015年5月28日 木曜日 山梨日日新聞

主 催

飯綱町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 峯村勝盛)
教育委員会生涯学習係

〒 389-1206 長野県 上水内郡飯綱町普光寺 133-1
飯綱町三水 B & G 海洋センター

TEL : 026-253-8951 FAX : 026-253-8951

結 果

人 口 : 11,854 人	長野県飯綱町 ●
参加者数 : 4,462 人	VS
参加率 : 37.6%	秋田県三種町 ○
取得メダル : 銀	

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ゲートボール交流大会 (飯綱町ふれあいパークゲートボール場) 105 人
- ②飯綱町健康体操・ラジオ体操 (飯綱町役場庁舎前) 102 人
- ③飯綱町健康体操と軽運動 (牟礼温泉天狗の館) 100 人
 - ・ 町内にある温泉施設へ保健指導員を派遣し、来館者に飯綱町で普及を図っている飯綱町健康体操の指導を行いました。
- ④楽しく動くチャレンジデー 集まれ! 笑おう! 歩こう! 運動講座 (飯綱町民会館) 80 人
- ⑤用水見学ウォーキング (町内) 20 人

協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

メディア

信濃毎日新聞 / NHK

広報・周知

宣伝用テープを作成し、町内を広報車で巡回しました。昼間に畑仕事をしている方などに直接チャレンジデーの宣伝ができました。

製作物

チラシ 6,000 枚 / ポケットティッシュ 10,000 個 / のぼり 20 本 / イベントロゴ (10 周年記念ロゴ) 1 個 / 広報車用マグネット 10 個

実施効果

今回初挑戦でしたが、参加者からは運動をするきっかけができて、清々しい1日を過ごせたなどの声が聞かれました。地区の方々の交流の機会になりました。

担当者から

飯綱町では合併 10 周年イベントとして参加率 50% を目標に今回初実施しました。周知が思うようにいかず 37.6% という結果でしたが、担当者としてはチャレンジデーが住民にとって、自身の健康や日頃の生活を見つめ直すきっかけとなればと願っています。



早朝ラジオ体操 (風坂組)



保育園でもチャレンジデー



ゲートボール交流大会



チャレンジデーに参加します！

今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

飯綱町 長野県上水内郡 人口：11,854人
VS
三種町 秋田県山本郡 人口：18,134人

秋田県三種町が対戦相手です！

合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

秋田県三種町が対戦相手です！

合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

2015年4月30日 木曜日 公民館報いづな

合併10周年記念 住民総参加型スポーツイベント

飯綱町チャレンジデーを実施します

～15分間運動をしましょう～ 2015

日時 平成27年5月27日(水曜日) 午前0時から午後9時まで

対戦相手は 三種町に決定!

(3回目/人口18,134人)

○チャレンジデーってなに？
 チャレンジデーとは、全国一斉で毎年5月最終水曜日に人口規模の近い自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動・スポーツを行った住民の「参加率(%)」を競い合う住民参加型のスポーツイベントです。

○何をすればいいの？参加方法は？
 チャレンジデーは従来のスポーツイベントのように一部の限られた人が、一つの会場に集まって運動をするのではなく、その日飯綱町にいる人であれば、自宅・学校・職場などでどんな運動やスポーツをしてもよく、参加者の年齢や性別も問わないためこの日は飯綱町にいる全ての方が主役です。
 参加方法は、イベント当日に15分以上継続して運動を行ってください。自分の好きなスポーツを仲間と行っても良いですし、犬の散歩やジョギングなど普段日常的に行っていることも対象になります。


○参加をしたら？
 参加報告は自己申告制です。チャレンジデー当日に15分以上運動をしたら、実行委員会事務局へ報告をしてください。報告の方法は、電話・FAXによる報告、参加報告書を集計ボックスに入れる方法、メールによる報告があります。詳しくは金戸配布されるチラシをご覧ください。

★当日はどなたでも参加可能なスポーツイベントもあります！

健康リズム運動
 講師 健康運動実践指導者 青柳聡子さん
 ・1000-1100 場所 幸礼B & G 体育館
 ・1400-1500 場所 三水B & G アリーナ
 持ち物：動きやすい服装・上履き・タオル・水分補給の飲み物

楽しく動くチャレンジデー集まれ!
 突おう! 歩こう! 運動講座
 講師 長野県健康づくり事業員 五十嵐健彦運動指導士
 ・1350-1500 場所 飯綱町民会館ホール
 持ち物：動きやすい服装・上履き・タオル・水分補給の飲み物

アクアフィットネス体協会
 講師 長野県指導センター 依田千恵子さん
 ・1900-2000 場所 三水B & G 海洋センタープール
 持ち物：水着・タオル



お問合せ/ 飯綱町チャレンジデー実行委員会事務局 (TEL/FAX:026-253-8951) (三水B & G 海洋センター内)

2015年4月30日 木曜日 広報いづな通信

住民の運動参加率 県外自治体と競う 県内4市町村 老若男女が汗

飯綱町、南相木町、橋本町、南木町の4市町村が参加。今年10月10日(水)に実施される。飯綱町は、合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

飯綱町、南相木町、橋本町、南木町の4市町村が参加。今年10月10日(水)に実施される。飯綱町は、合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

飯綱町、南相木町、橋本町、南木町の4市町村が参加。今年10月10日(水)に実施される。飯綱町は、合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

飯綱町、南相木町、橋本町、南木町の4市町村が参加。今年10月10日(水)に実施される。飯綱町は、合併10周年記念として、今年秋は飯綱町は、合併10周年という大きな節目を迎えています。市民の皆さんが健康でいきいきと暮らすために、秋田県飯綱町と長野県上水内郡三種町が対戦相手です！

2015年5月28日 木曜日 信濃毎日新聞

主催

喬木村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 市瀬直史)
喬木村教育委員会
〒395-1107 長野県下伊那郡喬木村 6664
TEL: 0265-33-2002 FAX: 0265-33-3682

結果

人口: 6,622人
参加者数: 4,223人
参加率: 63.8%
取得メダル: 金

長野県喬木村 ●
VS
秋田県井川町 ○

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①各公民館 早朝ウォーキング、ラジオ体操 (各公民館集会所) 約 500人
- ②ウォームアップ講習 (喬木中学校体育館) 150人
・夜間、ヤングソフトボール連盟で行ったプログラムです。講師の方をお呼びして1時間半ほどウォームアップ講習を行いました。
- ③サッカー交流試合 (喬木第一小、中学校グラウンド) 100人
- ④健康体操教室 (集会所、阿島傘伝承館) 80人
- ⑤遊びのひろば (子育てひろば) 50人

【アスリート・著名人など】

酒井浩文 (1988年ソウル五輪 20km 競歩日本代表、1989年アジア選手権優勝、全日本競歩大会優勝多数)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/社会福祉協議会/障害者施設

メディア

南信州新聞/信濃毎日新聞/中日新聞/いいだFM「iステーション スポットCM」

広報・周知

- ・1日2回村内オフトークでの呼びかけ
- ・20日前から当日まで広報車で村内を回って呼びかけ
- ・チャレンジデー前日、全戸に折込チラシの配布
- ・企業回り (当日協力依頼、周知依頼)

製作物

チラシ 3,000枚/スタッフTシャツ 80枚/ポケットティッシュ 1,000個/のぼり 20本/タオル 250枚/横断幕・懸垂幕 2枚/参加報告集計 BOX 40個

実施効果

- ・14回目の実施で、敗戦という結果でしたが、チャレンジデーが住民、企業にしっかりと認知され、多くの方に参加いただくことができました。
- ・普段なかなか運動する機会の少ない方も、この日はそれぞれで運動に取り組むことができ、体を動かす楽しさを実感できたと思います。
- ・実行委員の活発な広報活動を通じて、村内住民の連携強化を図ることができました。
- ・チャレンジデーで「たかぎスポーツクラブ (総合型地域スポーツクラブ)」の無料体験教室を実施した結果、会員の申込みが増え、住民の意識がより高まったと思います。

担当者から

今年で14回目の実施ということで、村民にはチャレンジデーが浸透しており、この日は運動する日だと、多くの方に認識されています。体育協会や総合型地域スポーツクラブ、村内企業の積極的な参加もありました。目標の70%に達しなかったのは残念でしたが、チャレンジデーはスポーツに親しむことが目的でもあるので、住民の方にはこれをきっかけに気軽に体を動かしてほしいと思います。



酒井浩文先生によるウォームアップ講習



健康体操教室



公園で運動する東御市の保護児童

東御

一日に午前以上、運動した住民の参加率を人口規模の近い他の自治体と競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が昨日、全国各地で行われた。県内から東御市、上水内郡飯綱町、下伊那

住民の運動参加率 県外自治体と競う
県内4市町村 老若男女が汗



飯綱町内のウォーキングする住民ら

飯綱

郡藩木村、南佐久郡相模村の4市町村が参加。このうち、東御市が勝利した。2回目の参加となる東御市は奈良県磯辺町と対戦。東御中央公園では住民がウォーキングをし、市職員は市役所近



トシボルをする藩木村の子もたち

藩木

くの園外で体操をした。小中学校保護者は各校、園をみる参加。田中公園の年少園約40人は近くの公園で、ボール遊びや「けんけんぽん」をして楽しそうに汗をかい



南相模村で「トシボル」を楽しむ人々たち

南相模

秋田県三種町と対戦した飯綱町は初参加。今年10月1日、幸礼村と旧三木村の合併による町誕生10周年を記念して行

参加した主婦の杉田恵子さん(66)は「体を動かす良い機会になった」と喜んでいた。藩木村は、7割以上の参加を目標に秋田県井川町と対戦し、ウォーキングや「トシボル」などのイベントを開催。藩木第一小学校保護者でトシボルをしたのは向小5年の福澤さん(10)は「お母さん、お父さん、おじいさんがお友達と一緒に運動するのは楽しかった」と話していた。

2015年5月28日 木曜日
信濃毎日新聞

体動かし健康づくり
14年連続「チャレンジデー」



井川町は、秋田県三種町と対戦した。今年10月1日、幸礼村と旧三木村の合併による町誕生10周年を記念して行

井川町は、秋田県三種町と対戦した。今年10月1日、幸礼村と旧三木村の合併による町誕生10周年を記念して行

2015年5月28日 木曜日
南信州新聞

井川町(秋田)と勝負
チャレンジデー
藩木村が参加

一日十五分以上、運動を促し、初参加した住民の参加率をから十三年連続で金メダルを獲得した。今年「チャレンジデー」が二十七日、全国各地で開かれ、藩木村は十四年連続でエントリー。参加率70%以上を目標に、村民が助んだ。



運動遊びを楽しむ親子たち
藩木村で(阿村提供)

2015年5月28日 木曜日
中日新聞



富田マレットゴルフの皆さん

主催

チャレンジデー東御市実行委員会 (実行委員長 花岡利夫)
教育委員会 生涯学習課 生涯学習・スポーツ係
〒389-0592 長野県東御市 288-4
中央公民館内
TEL: 0268-64-5885 FAX: 0268-64-5610

結果

人口: 30,925 人
参加者数: 16,682 人
参加率: 53.9%
取得メダル: 金

長野県東御市 ○
VS
奈良県広陵町 ●

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジとうみ 15分体操 (市役所市民交流ひろば) 450人
 - ・市民や企業がチャレンジデーに取り組みやすいように、子どもから高齢者までが気軽に体を動かせる体操のDVDを作成し、企業や各種団体へ配布しました。チャレンジデーへ容易に参加できるように配慮したものです。
 - ・DVDは市民や企業の協力により、AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」のように大勢の映像を繋ぎ、市長の勝利に向けたメッセージも盛り込むことで、市民がよりチャレンジデーを身近に感じてもらえる構成としました。
※使用曲:「ラジオ体操第1」、東御市民まつりの踊り曲「～ハートつないで～TOMI, to me!」の2曲を使用
- ②チャレンジ親子体操 (東御市東部子育て支援センター) 200人
- ③具志堅幸司記念講演会 (東御市中央公民館講義室) 150人
- ④早朝ウォーキング (市開催イベント) (東御市中央公園芝生広場) 90人
- ⑤夕刻ウォーキング (市開催イベント) (東御市中央公園芝生広場) 80人

【アスリート・著名人など】

具志堅幸司 (日本体育大学教授、1981年ロサンゼルス五輪体操個人優勝)

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

メディア

信濃毎日新聞/信州民報/abn長野朝日放送/上田ケーブルビジョン/SBC信越放送「ラジオ」ラジオカーレポート/ FMとうみ

広報・周知

- ・コミュニティーFMの協力を得て、チャレンジデー実施日の数日前から30秒のスポットコマーシャルを流しました。参加者の自主的な報告が重要であることを重点的に周知したことで、リスナーの認識が高まり報告数が伸びたと考えられます。

- ・地域のケーブルテレビに準備段階から取材を要請しました。また、住民参加の「チャレンジとうみ15分体操」DVD作成も依頼したことで、チャレンジデー実施の裏側や作成したDVDの事前放映などの協力が得られたことは大変良かったと感じました。

製作物

チラシ 20,000枚/ポケットティッシュ 20,000個

実施効果

2014年が初挑戦だった当市は、昨年の惜敗を糧に「今年こそ勝利を!」という意気込みで2回目のチャレンジデーに挑戦しました。企業や事業所に協力要請をすると、「ああ!あれね!」や「今年には勝たないといけないね!」などの励ましの言葉をいただき、少なからずとも企業の方にもチャレンジデーが浸透していることを実感しました。

また、市民からも同様の声が寄せられ、市をあげてチャレンジデーに取り組んでいることが市民にも伝わっていることが確認できました。

チャレンジデーは、東御市が生涯学習の柱のひとつに掲げる「ひとり1スポーツの実践」を確実なものにするために大いに役立っていると感じています。

担当者から

- ・市民や企業が市の施策に関心を示してくれていることが確認できたこと、昨年の雪辱を果たし勝利できたことが良かったです。
- ・4月1日の人事異動により担当が変わったため、当日までの準備日数が少なかったことと、参加報告が電話・ファックス・メール・直接など多様であったため、報告方法の一元化に苦労しました。



駅前ではチャレンジデーをPR

東御「チャレンジデー」今年も参加 「15分間運動」DVDで促進



東御市は、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

来月27日 全国で実施 児童ら「お手本」に

色々の高齢者が、運動の楽しさを体験し、健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

2015年4月21日 火曜日 信濃毎日新聞

15分以上の運動で勝負

県内から東御市など

27日 住民参加率競う

東御市は、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)
東御市 (3,925人)	東御市 (3,925人)

この日は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

2015年5月23日 土曜日 読売新聞

「チャレンジデー」昨年より参加者増加 PR用映像など作成して市民に啓発



東御市は、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

市民広場で「チャレンジ」とうみ15分体操運動。 (写真中央は) 花岡市長

今年度のチャレンジデーは
5月27日(水)

この日に向けて「PR用映像」も作成した。市は、市民の健康増進を図るため、今年も「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図る。

2015年5月28日 木曜日 信州民報



市民交流ひろばで「チャレンジとうみ 15分体操」



企業の皆さんも終業後にウォーキング

主催

南相木村チャレンジデー実行委員会（実行委員長 菊池毅彦）
南相木村教育委員会
〒384-1211 長野県南佐久郡南相木村 4435
TEL：0267-78-2433 FAX：0267-78-2477

結果

人口：1,098人	長野県南相木村 ●
参加者数：1,031人	VS
参加率：93.9%	青森県新郷村 ○
取得メダル：金	

プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①オープニングセレモニー（村内ウォーキング）（中島～和田地区）114人
- ②おたっしや教室 レクリエーション体操（村内各所）106人
- ③チャレンジデーオープンゲートボール大会（丸山総合グラウンド）97人
- ④スポーツチャレンジ集会（大縄跳び）（小学校）73人
- ⑤チャレンジデーオープンマレットゴルフ大会（宮の上マレットゴルフ場）68人
 - ・ 今年は3回目の挑戦ということで、ゲートボール大会に引き続き、マレットゴルフ大会をチャレンジデー実行委員会主催で開催しました。近隣市町村に呼びかけをしたり、ポスターを作成し宣伝をして68名の方に参加いただきました。

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／高齢者団体／病院・診療所／高齢者施設

メディア

読売新聞／テレビ信州「報道ゲンバFace」／ケーブルテレビ「村のうごき」

広報・周知

村のケーブルテレビを通じて、チャレンジデー実施のお知らせや、どのようなイベントがあるか等を放送し、参加率の向上とイベントへの理解を深めました。

製作物

チラシ30枚／ポケットティッシュ1,000個

実施効果

役場職員を含め、村民にも運動をすることの大切さを理解していただけたと思います。

担当者から

今年度初めてチャレンジデーの担当を務め、イベントを企画し、人を集め、人を動かすことの苦労を学びました。

また、今年の目標は参加率90%でしたので、その目標をいかに達成するかというプレッシャーも大きかったです。

しかし、上司や同僚の協力を得ながら無事イベントを終えることができ、目標としていた90%の参加率も超えることができたので、喜びや達成感もより大きいものとなりました。

今回、青森県の新郷村と対戦し、残念ながら負けてしまいましたが、他県の市町村とも関わりを持つことができたので良かったと思います。



健康体操（滝見の湯）



チャレンジデーオープンマレットゴルフ大会



村内ウォーキング（オープニングセレモニー）

1日に15分以上、運動した住民の参加率を人口規模の近い他の自治体と競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が27日、全国各地で行われた。県内からは東御市、上水内郡飯綱町、下伊那

東御



公園で運動する東御市の保育園児

住民の運動参加率 県外自治体と競う
県内4市町村 老若男女が汗

郡喬木村、南佐久郡南相木村の4市町村が参加。このうち、東御市が勝利した。2回目の参加となる東御市は奈良県広陵町と対戦。東御中央公園では住民がウォーキングをし、市職員は市役所近

飯綱



飯綱町内をウォーキングする町民ら

くの屋外で体操をした。小学校や保育園は学校、園ぐるみで参加。田中保育園の年少園児約40人は近くの公園で、ボール遊びや「けんけんぱ」をして楽しそうに汗をかい

喬木



ドッジボールをする喬木村の子どもたち

秋田県三種町と対戦した飯綱町は初参加。今年10月に旧牟礼村と旧三水村の合併による町誕生10周年を記念する行事の一環で、町民の健康増進にもつなげようと企画した。牟礼地区でのウォーキングに

南相木



南相木村でマレットゴルフを楽しむ人たち

参加した主婦の杉田延子さん(66)は「体を動かす良い機会になった」と喜んでた。喬木村は、7割以上の参加を目標に秋田県井川町と対戦し、ウォーキングやゲートボールなどのイベントを準備。喬木第一小学校体育館でドッジボールなどをした同小5年の福島凛さん(10)は「外野にいた私にみんながパスを回して、内野に戻るチャンスがくれたとき、うれしかった」。参加3年目の南相木村は青森県新郷村と対戦。マレットゴルフ場では参加者を増やそうと村民以外も参加できるオープン大会があり、快晴の下、高低差のあるホールで汗を流した。村内から参加した田村廣広さん(66)は「多くの人と一緒に体を動かすのは楽しいね」と話していた。

主 催

土岐市チャレンジデー実行委員会
(土岐市レクリエーション協会会長 菅原敦子)
教育委員会スポーツ振興課
〒509-5192 岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2101
TEL: 0572-54-1111 FAX: 0572-55-6310

結 果

人 口: 60,300 人	岐阜県土岐市	●
参加者数: 27,505 人	VS	
参加率: 45.6%	徳島県鳴門市	○
取得メダル: 銀		

プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①オープニング・イベント「ミナモと一緒に踊ろう!! ラジオ体操・ミナモ体操・レクあそび」(土岐市総合公園野球場) 400 人
・チャレンジデー開始のイベントとして、清流の国ぎふのキャラクター「ミナモ」(チームミナモ)に参加してもらい、ラジオ体操、ミナモ体操を行いました。地元の保育園・幼稚園児、周辺3地域の老人クラブのお年寄りに参加を募り、お年寄りと孫世代の交流の場として、一緒になって体操、レクリエーションを楽しんでもらいました。市長、教育長、教育委員も、一緒に汗を流しました。
- ②親子3B体操 あそびの日 (ウエルフェア土岐) 122 人
- ③3B体操 レクリエーション体験 (セラトピア土岐) 102 人
- ④ファイナルイベント (セラトピア土岐) 93 人
- ⑤曾良山登山 (バーデンワーク SOGI 集合) 30 人

協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/競技団体/レクリエーション協会
/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/
高等学校/事業所・企業/高齢者団体/社会福祉協議会/高齢者
施設/障害者施設

メディア

中日新聞/岐阜新聞/毎日新聞/おりベネットワーク「おりベニュース」

広報・周知

初挑戦でどのようなことをすればよいか手探り状態の中、プログラムなどの計画や募集も遅れ気味になってしまったことで、広報も限られたものになってしまいました。広報誌には前もって記事を1回と5月に全戸配布チラシを1回実施して、市民への浸透を図りました。企業へ直接訪問し、チラシを配布して参加のお願いに回りました。報道機関に対して、エール交換前にも直接、取材の依頼をかけてできるだけ多くの記事を掲載いただくなど、周知を図りました。スポーツ振興課で発送する封筒の一部にチャレンジデーのロゴや開催日を印刷したものをに入れて周知を行いました。

製作物

チラシ 19,000 枚/のぼり 60 本/タオル 600 枚/横断幕・懸垂幕 10 枚

実施効果

チャレンジデーのユニークなルールは面白味があり、多くの方が興味関心を持ち、楽しみながら参加できました。スポーツを行うとき、「楽しむこと」が一番大切な要素であり、運動を習慣づける上で効果的なイベントになったと思います。また、対戦相手となった鳴門市とも、両市長のエール交換をはじめ、チャレンジデーを実施しなければ接点のなかった市町村であり、友好的な関係を築ききっかけができたことは良かったです。

担当者から

開催日が平日ということもあり、どうすれば多くの方に参加してもらえるかを企画することに苦労しました。



ミナモと一緒にラジオ体操



力を合わせてパラシュート

土岐市「チャレンジデー」初参加

「チャレンジデー」は、市民が健康増進のために、スポーツに参加する機会を創出し、市民の健康意識を高めることを目的として、毎年5月27日に開催される。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

徳島・鳴門市長に テレビ電話でエール

27日にイベント開催



「チャレンジデー」は、市民が健康増進のために、スポーツに参加する機会を創出し、市民の健康意識を高めることを目的として、毎年5月27日に開催される。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

2015年5月13日 金曜日 毎日新聞

土岐で「チャレンジデー」

徳島・鳴門市と
住民参加率競う

27日一斉に運動を

「チャレンジデー」として、公益財団法人徳川スポーツ財団（東京都）が主催し、全道100カ所以上で、市民の参加率を競う。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

9会場10種類を用意



「チャレンジデー」は、市民が健康増進のために、スポーツに参加する機会を創出し、市民の健康意識を高めることを目的として、毎年5月27日に開催される。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

2015年5月13日 水曜日 中日新聞

スポーツ参加率で徳島・鳴門市と対戦

土岐市民、心一つに快汗

15分以上運動した市民の参加率を競う「チャレンジデー」2015。県内から参加した市民が、27日、全国100カ所以上で開催された。県内から参加した市民が、27日、全国100カ所以上で開催された。県内から参加した市民が、27日、全国100カ所以上で開催された。



「チャレンジデー」は、市民が健康増進のために、スポーツに参加する機会を創出し、市民の健康意識を高めることを目的として、毎年5月27日に開催される。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

2015年5月28日 木曜日 岐阜新聞



老人保健施設やすらぎの皆さん

体操など老若男女 400人健康づくり

土岐市がチャレンジデー参加

15分以上運動した市民の参加率を競う「チャレンジデー」2015。県内から参加した市民が、27日、全国100カ所以上で開催された。県内から参加した市民が、27日、全国100カ所以上で開催された。



「チャレンジデー」は、市民が健康増進のために、スポーツに参加する機会を創出し、市民の健康意識を高めることを目的として、毎年5月27日に開催される。今年も、土岐市は、この「チャレンジデー」に参加し、市民の健康意識を高めることに努めた。

2015年5月28日 木曜日 中日新聞

主催

羽島市チャレンジデー実行委員会 (会長 松井 聡)
羽島市教育委員会スポーツ推進室
〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻町 226 番地 2
羽島市教育委員会
TEL : 058-393-4622 FAX : 058-391-0906

結果

人口 : 68,731 人
参加者数 : 46,541 人
参加率 : 67.7%
取得メダル : 金

岐阜県羽島市 ●
VS
埼玉県秩父市 ○

プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①キンポールスポーツ体験 (羽島市立正木小学校体育館) 85 人
・羽島市レクリエーション協会から指導者を派遣し、すべての年齢の市民を対象に、キンポールスポーツの紹介と体験を中心とした活動を行いました。夕方の時間帯であり、大人と子どもと一緒に楽しめるイベントであるため、紹介にも力を入れました。このチャレンジデーのイベントを通して、キンポールスポーツを好きになり、通常開催の体験教室に参加する方が増えました。
- ②健康体操 (羽島市柔剣道道場) 70 人
- ③グラウンド・ゴルフ体験 (羽島市総合運動公園グラウンド) 70 人
- ④スポーツ吹矢体験 (羽島市小熊町コミュニティセンター) 50 人

協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

メディア

岐阜新聞／チャンネル長良川「エアートピックス」

広報・周知

動画を使った広報を行いました。Youtube に動画をアップロードして、一人でも多くの人に見ていただくことで、市民の運動意欲を高めようと思いました。提供されたポスターの下の空白部分に、市内小学校の児童、中学校の生徒に応援メッセージを書いてもらい、温かみのある、手作りのポスターを作成しました。どちらも好評であり、継続していこうと考えています。

製作物

チラシ 30,000 枚／ポケットティッシュ 3,000 個／横断幕・懸垂幕 20 枚／参加賞 (入浴剤) 600 個／動画 (PR 用と当日用) 2 本

実施効果

羽島市が、チャレンジデーに取り組んでいるということ、これまで以上に多くの人に周知できました。「こんなに楽しいことに取り組んでいるなんて知らなかった!」「友達を誘って報告したい!」という声が多く聞かれました。例年よりも、1人や2人という少人数の参加報告が増え、「来年はもっと仲間を集めて運動するよ!」との声も多かったです。

担当者から

協力いただける団体や店舗の方の優しい対応や、参加者の報告の弾んだ声、メールでの報告の温かい文面に、参加者の増加以上の喜びがありました。中には、事務局までランニングがてら、直接報告してくださる方もおり、事務局が明るくなりました。今回のチャレンジデーをきっかけに、ウォーキングが習慣になった家族や、ジョギングが習慣になった方もいました。

苦労した点は、メールやデジタルの媒体での広報やPRが上手くいかなかったことです。もっと多くの方に周知や報告ができる方法を考えなければいけないと思いました。



いよいよ暑い一日がスタートです



応援メッセージを書き込みます